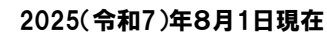


JR



※札幌トンネル札幌工区の覆工延長は二次インバート延長を示します。*2 断面を分割して掘削しているため、過去1か月の掘削延長が0mになっています。

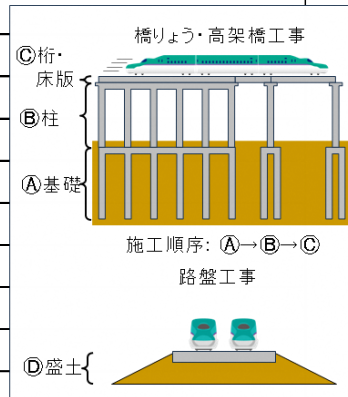
1

※現時点で想定している発生量に対する確保割合。発生量は地質や工事の状況により変更となる可能性があります。

北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)工事月報②

橋りょう、高架橋等の工事

工区名	延長	進捗率 (先月比)	工事状況				
			①	②	③	④	
札幌車両基地高架橋	1,344m	45% (+4)	●	●	●	—	
札幌トンネル(桑園)他	659m	35% (+4)	●	●	●		
新小樽(仮称)駅高架橋外1箇所	360m	27% (+3)	●	●		—	
明治高架橋他	976m	46% (+4)	●	●	●	—	
琴平高架橋	3,395m	26% (+4)	●	●			
倶知安駅高架橋	3,160m	45% (+2)	●	●	●		
岩尾別高架橋	2,354m	48% (+3)	●	●		—	
宮田高架橋外1箇所	1,136m	41% (+2)	●	●	●	●	
静狩路盤 ※高架橋を含む	4,390m	37% (+6)	●	●	●	●	
共立路盤 ※高架橋を含む	3,921m	53% (+8)	●	●	●	●	
栄原高架橋	2,534m	62% (+5)	●	●	●	—	
長万部駅高架橋	2,319m	20% (+2)	●	●		—	
平里高架橋他	1,838m	57% (+2)	●	●	●	—	
中ノ沢高架橋	1,876m	60% (+3)	●	●	●	—	
花岡高架橋	2,639m	57% (+4)	●	●	●	—	
国縫高架橋	2,138m	31% (+4)	●	●		—	
遊楽部高架橋	1,083m	52% (+4)	●	●	●	—	
新八雲(仮称)駅高架橋	1,178m	61% (+6)	●	●	●	—	
大新高架橋外1箇所	2,883m	59% (+2)	●	●	●	●	
市渡高架橋他	461m	99% (+0)	■	■	■	●	



JR委託工事

札幌駅高架橋	799m	—	●	●	●	—	
--------	------	---	---	---	---	---	--

凡例 空欄:未着手 ●:施工中 ■:施工完了 —:対象なし

設備工事進ちょく状況

工事種類	工区名	工事状況
軌道工事	基準器設置	基準器設置工事中
軌道工事	渡島南軌道敷設	準備中
軌道工事	渡島北軌道敷設	準備中
軌道工事	ニセコ軌道敷設	準備中
軌道工事	渡島レール溶接	準備中
軌道工事	後志レール溶接	準備中



札幌トンネル(桑園)
鋼製連壁掘削状況



札幌トンネル(富丘)
トンネル掘削状況



札幌トンネル(石倉)
多量湧水処理状況



渡島トンネル(南鞆)
トンネル掘削状況



渡島トンネル(台場山)
長尺ボーリング実施状況



写真① 札幌車両基地高架橋(札幌市)



写真② 札幌トンネル桑園工区(札幌市)



写真③ 新小樽(仮称)駅高架橋(小樽市)



写真④ 明治高架橋(赤井川村)



写真⑤ 琴平高架橋(倶知安町)



写真⑥ 倶知安駅高架橋(倶知安町)



写真⑦ 岩尾別高架橋(倶知安町)



写真⑧ 宮田高架橋(里見工区)(ニセコ町)



撮影位置図



写真⑨ 宮田高架橋(宮田工区)(ニセコ町)



写真⑩ 静狩路盤(長万部町)



写真⑪ 栄原高架橋(長万部町)



写真⑫ 平里高架橋(長万部町)



写真⑬ 長万部駅高架橋(長万部町)



写真⑭ 新八雲(仮称)駅高架橋(八雲町)



写真⑮ 大新高架橋(八雲町)



写真⑯ 市渡高架橋(北斗市)



撮影位置図



○令和7年7月7日～9日に北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の本線に敷設するレール(長さ25m/本、約1,000本)を瀬棚港(久遠郡せたな町)に初陸揚げした。瀬棚港は、レールを陸揚げした港として、函館港に続き2か所目。

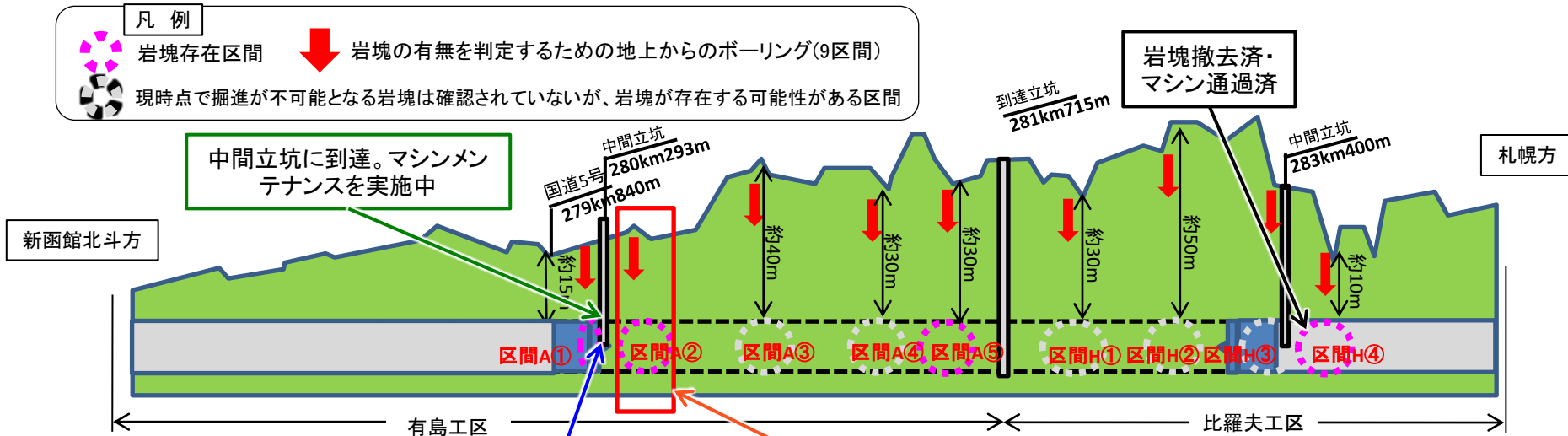
○瀬棚港への陸揚げは、令和7年度に約2,000本、令和8年度に約3,700本の計5,700本を予定。



レール陸揚げの様子

岩塊撤去の進捗状況(羊蹄トンネル)

- 令和4年度に実施した弾性波探査の結果、9箇所掘進に影響する可能性のある岩塊の存在を確認。(図中の区間A①～H④)
- 区間A①では、掘進停止の原因となった岩塊を撤去し、シールドマシンが7/1中間立坑に到達。マシンメンテナンス実施中。ビット交換準備中。
- 令和4～5年度の地上からのボーリング調査の結果、区間A②、A⑤、H④において、シールドマシンによる掘進が停止するおそれがある岩塊の存在を確認。このうち、区間A②の岩塊は、令和6年5月より地上から撤去中(令和7年6月より撤去範囲を拡大しており、令和7年7月31日時点で136本の撤去完了)、区間A⑤の岩塊は、今後到達立坑から撤去予定、区間H④の岩塊は地上から撤去済。区間H③は岩塊無し。
- 残りの区間では、地上からのボーリング調査の結果では、シールドマシンによる掘進が不可能となる岩塊は確認されていない。



中間立坑でのシールドマシンの到達状況



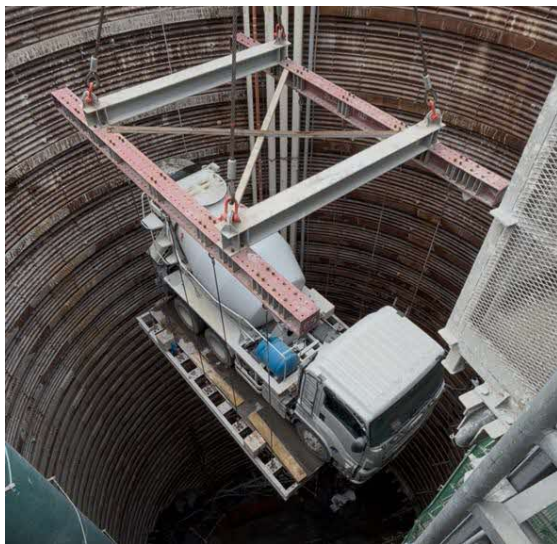
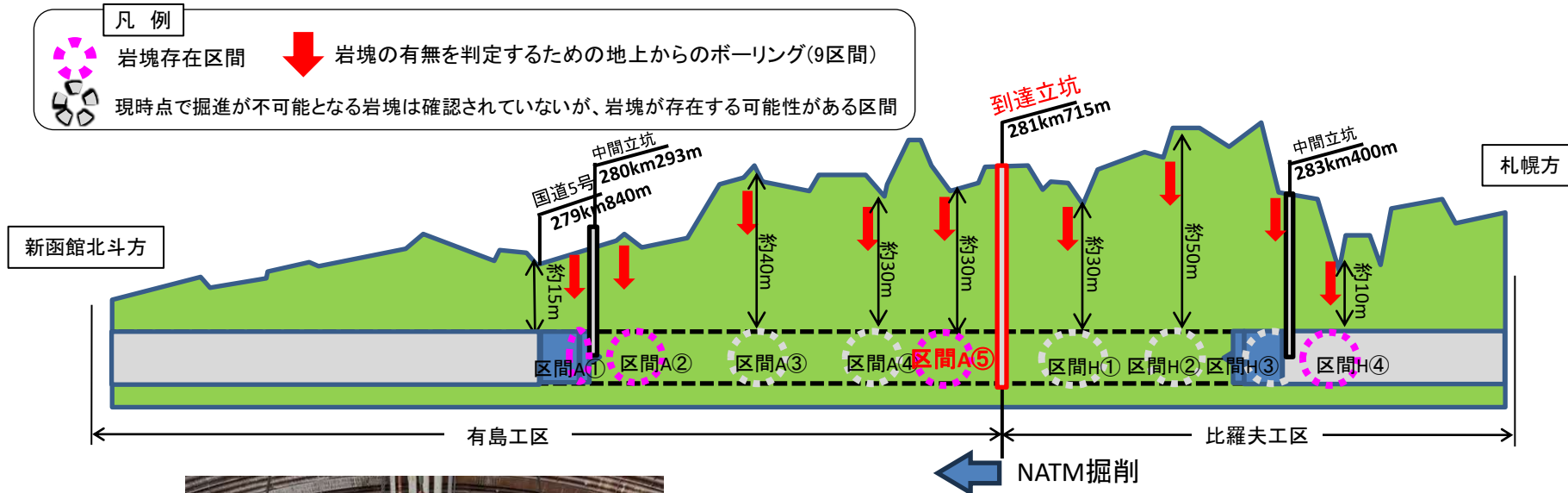
岩塊撤去状況



撤去された岩塊

羊蹄トンネル(有島)工区の岩塊撤去状況【区間A⑤】

○岩塊が存在すると想定してる区間A⑤における岩塊撤去について、令和7年2月より到達立坑よりNATM掘削を開始。
今後、岩塊を撤去予定。



トラックミキサー車入坑状況(到達立坑部(地上部))



NATM掘削状況